



ぐーだふおり

第16号

編集・発行
社会福祉法人
河内四つ葉会
グーフォ・かわち

〒329-1105
宇都宮市中岡本町3178-3
TEL 028 (673) 0002
FAX 028 (671) 0785
✉ kawachi-yotsubakai@rouge.plala.or.jp
✉ http://kawachi-yotsubakai.or.jp/

印刷／藤崎印刷株式会社

理事長に就任して

理事長 磯町 三男

法人そして施設関係者の皆様には、日頃からご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私こそ、昨年6月末に理事長に就任いたしました。当法人には法人設立以来11年間事務長として関わっておりましたので、今回は2年振りの再開ということになります。

就任後8か月が過ぎようとしている折、法人及び各施設の更なる発展に向けて努力しているところでござります。

障害者施設のみならず福祉を取り巻く情勢は日々変化しており、ありゆる面において厳しい状況下にあることはご存じであるかと思います。

このような厳しい状況下にあるものの、引き続き利用者の皆さんのが明るく一日一日を過ごし、そして各部門において、元気に仕事ができる施設造りをとの思いで、職員一同種々模索しながら頑張つている次第でございます。

しかしながら、より良い施設にするためには、保護者の皆様、そして関係者の皆様方のご協力を得ずして向上をみるとことは難しい面があるかと思われます。今後も保護者・関係者の皆様方のご支援ご協力を賜りながら、より良い施設造りに努めて参りたいと考えております。

最後に関係者の皆様方の益々の発展と、ご健勝をご祈念申し上げ、就任に当たつての私の信条といたします。

花と笑顔のプレゼンター

施設長 和久井 隆

平成から令和へと時代が変わり、福祉を取り巻く環境も刻々と変化しています。特に、社会福祉法人には「公益的な取組」が強く求められており、現在の施設利用者のみならず、不特定の方々の福祉（幸福）にも関わる活動を行っています。

この取り組みの一環で、グーフォ・かわちでは、近隣の幼稚園・保育園児と共同でブランセンターに植え付けた花苗を地区市民センターや図書館に設置し、農園芸班の皆が毎週ボランティアで管理しています。そして、この共同作業やグーフォ祭を通じて、園児や生徒と交流を図りながら、障害者理解を深めてもらう教育に役立てています。また、ウエルシア薬局で開催する「じちじかフェス」に参加し、困りごとの相談を受けています。

さて、4月からは新しい仲間が加わることが決まりました。変わらぬ安心はもちろん必要ですが、形を変えてでも継続することや、新しい息吹を取り入れて活性化を図ることが必要な場合もあります。

いずれにしても、一人ひとりの持てる意欲ができるよ

う支援

し、河内

地区の笑

顔のプレ

ゼンタ

をを目指し

ます。

**花と笑顔の
プレゼンター**

障がいがあっても
優しい人が一人倍。街の
皆が優しい美味しいよう
に、いつまでも健やかによ
く、毎日元気な生活をめざす
お手入れしています。

障がい者サービス事業所
グーフォ・かわち では、農園芸班
の皆が、花の栽培管理を行っており、
地区市民センターや図書館に設
置したブランセンターのお手入れに何
ってています。通りかかる皆様から
の声かけ大歓迎です！

**君も
福祉の
理解者だ**

理解を深めるには
何といっても、お会いするこ
とが第一課。

グーフォ祭では、中学生やボラン
ティアさんが、お手伝いで幼稚園児
や保護者の方たちと一緒に、文
部省認定の「おもてなし」市
へと変身し、街全体を盛り上げ
ることでしょう。

いちごカフェに参加しています
お手りごとがあったらいつもお気軽にご相談ください。
待ってまへず

▲「公益的な取組」事例集より

令和元年度の行事・地域との交流のふりかえり

- 4月 お花見
- 6月 日帰り旅行～アクアワールド大洗～
次世代国産花き産業確立推進事業
- 7月 絵画鑑賞会（鹿沼）
- 8月 夏まつり
- 9月 コスモスを見る会
- 10月 グーフォ祭
- 11月 紅葉を見る会
次世代国産花き産業確立推進事業
かわちふるさとまつり
- 12月 クリスマス会
- 1月 もちつき・新年会
- 3月 利用者自治会主催ボウリング



▲日帰り旅行 アクアワールド大洗



令和元年度 トピックス

●新たな職員が着任しました！（写真右から）

- | | |
|------------------|----------------|
| 嘱託医師（高野クリニック院長） | 高野 幸一（4月～） |
| 作業支援員（パン） | 栗田真由美（3月～） |
| 作業支援員（農園芸） | 橋本 浩（9月～） |
| 主任兼サービス管理責任者（受注） | 脇島 俊昭（4月～） |
| 非常勤生活支援員（受注・織物） | 佐藤美代子（令和2年3月～） |



▲新採の職員をよろしくお願いします

●「わく・わくアートコンクール」inうつのみや2019

【わく・わく賞】に真壁龍徳さんが入賞されました。



▲スバル労連様から福祉車両寄贈
▲園児たちと花の苗植え

●ご寄付を頂いた方・団体のご紹介（匿名希望の方を除く）（順不同）

- 環境整備株式会社様、フードバンク宇都宮様、株式会社ひびき様、
- 社会福祉法人すぎの芽会様、医療法人慈啓会様、五月女 純様、田村 富男様、
- 磯町 三男様、清水 曜子様、四関 素様、千代 和子様、小林 和子様、大橋 紀元様

●県の次世代国産花き産業確立推進事業を実施！

6月なかよし保育園児と、11月に岡本幼稚園児と一緒に花を植えての交流を図りました。

●スバル労連様より「福祉車両」を寄贈していただきました！

車イスの輸送が可能な福祉車両が12月に納車されました。

各作業グループ報告



今年度は、1月に近江廣斗さん（利用者）が入り11名で活動しています。作業関係では、去年と同様に県の「次世代国産花き産業確立推進事業」の一環として、6月には、なかよし保育園さん、11月には、岡本幼稚園さんとプランターに花を植える作業を園児さん達と一緒に行いました。利用者さんは、昨年経験した事もあり、積極的に園児さん達に花の植え方を教えたり、重い土袋を運んだりと大変な作業でしたが、とびっきりの笑顔で、頑張っていました。完成したプランターは、なかよし保育園さん・岡本幼稚園さん・河内図書館さん・地区市民センターさんに置かせて頂きました。

●野菜関係では、無肥料・無農薬の自然栽培で作った大根を初めて収穫しました。収穫した大根で、切り干し大根作りを行いました。また、地域のお店でも大根を販売しました。

解体作業では、解体を始めた当初は手順を覚えるのに苦戦していましたが、今では新しい部品になつても、すぐ取り組んでいます。また、どうしたら効率良くできるか考えて、自分に合った手順で作業に取り組んでいる利用者さんもいます。これからも農園芸班は、生き物を育てる楽しさ・難しさを感じてもらいながら、豊かな感性を育めるように支援していくたいと思います。



●ゲーフォ祭で♪麦畑のデュエット

新しい取り組みとしては、みんなが大好きで立ち仕事のパン作業を長期に継続できるように、作業の空いた時間に体操や体幹を鍛える運動をするようになりました。些細なことでも継続をしていきたいと思います。

来年度も地域の皆様の協力を得ながら、お客様に安全で美味しいパンを届けるとともに、利用者が「お仕事が楽しい」と思える環境作りに努めています。

●新たな職員が着任しました！（写真右から）

嘱託医師（高野クリニック院長） 高野 幸一（4月～）

作業支援員（パン） 栗田真由美（3月～）

作業支援員（農園芸） 橋本 浩（9月～）

主任兼サービス管理責任者（受注） 脇島 俊昭（4月～）

非常勤生活支援員（受注・織物） 佐藤美代子（令和2年3月～）

●「わく・わくアートコンクール」inうつのみや2019

【わく・わく賞】に真壁龍徳さんが入賞されました。

●ご寄付を頂いた方・団体のご紹介（匿名希望の方を除く）（順不同）

環境整備株式会社様、フードバンク宇都宮様、株式会社ひびき様、

社会福祉法人すぎの芽会様、医療法人慈啓会様、五月女 純様、田村 富男様、

磯町 三男様、清水 曜子様、四関 素様、千代 和子様、小林 和子様、大橋 紀元様

●県の次世代国産花き産業確立推進事業を実施！

6月なかよし保育園児と、11月に岡本幼稚園児と一緒に花を植えての交流を図りました。

●スバル労連様より「福祉車両」を寄贈していただきました！

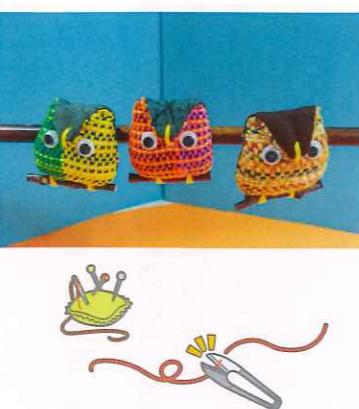
車イスの輸送が可能な福祉車両が12月に納車されました。

農園芸

パン

受注

織物



今年度は、織物班の場所が食堂から作業室に引っこ越しました。初めのころは戸惑っている様子でしたが、今では慣れたようです。午前中は受注の仕事を受注班と一緒に行っています。色々な部品を数えたり、チューブにリングを付ける作業も慣れて上手になっていました。午後は織り機に向かい織りを進めています。

昨年に続き「百歳のお祝記念トートバッグ」はボランティアの方々に反物からの製品化はもちろん、箱の組み立て、包装等々ご協力いただき無事に納品することができました。お礼申し上げます。主な製品はスマホケース、ふくろうバッグ、ベンケース、マフラー、トート、ペンケース、ポシェット、コースターや、ペンカース、マフラー、トートバッグです。反物を洗濯し、接着芯を貼り、カットし、裏地を付ける、ふくろうバッグのどまり木（桜の木）の確保等々ボランティアの方々の協力を得て作られています。

できるだけ安定して作業ができるよう個々に合わせた支援、利用者が無理なく、楽しみながら過ごせるように取り組んでいきたいと思っています。

今年度は、今まで以上に安全性に気を付けて製品作りを目指しました。数年かけて準備や研修を受けた「食品表示法」や「HACCP」に対応できるよう準備をしたり、パン工房全員で「食べ物（製品）を作り、食べてもらう」という基本を確認しながら、丁寧に製造・販売をしました。また、衛生面や体調面に留意し、声かけを続けることで利用者一人一人、意識して取り組めるようになりました。

また、今年度は「チャレンジする年」として、苦手で取り組みに消極的な作業に対しても、一对一で確認をしながら取り組みを続け、成功を繰り返すことで自信に繋げ、声かけがなくても、自発的に取り組み、「できた！」と、うれしそうな笑顔を見せてくれるようになりました。

●新たな職員が着任しました！（写真右から）

嘱託医師（高野クリニック院長） 高野 幸一（4月～）

作業支援員（パン） 栗田真由美（3月～）

作業支援員（農園芸） 橋本 浩（9月～）

主任兼サービス管理責任者（受注） 脇島 俊昭（4月～）

非常勤生活支援員（受注・織物） 佐藤美代子（令和2年3月～）

●「わく・わくアートコンクール」inうつのみや2019

【わく・わく賞】に真壁龍徳さんが入賞されました。

●ご寄付を頂いた方・団体のご紹介（匿名希望の方を除く）（順不同）

環境整備株式会社様、フードバンク宇都宮様、株式会社ひびき様、

社会福祉法人すぎの芽会様、医療法人慈啓会様、五月女 純様、田村 富男様、

磯町 三男様、清水 曜子様、四関 素様、千代 和子様、小林 和子様、大橋 紀元様

●県の次世代国産花き産業確立推進事業を実施！

6月なかよし保育園児と、11月に岡本幼稚園児と一緒に花を植えての交流を図りました。

●スバル労連様より「福祉車両」を寄贈していただきました！

車イスの輸送が可能な福祉車両が12月に納車されました。

近江廣斗さん(17才)

グーフォを支えて下さっている方のご紹介

クラブ活動講師

- ◆カワイ体育教室 大内由希子さん
- ◆音楽クラブ 松本 薫さん
- ◆絵画クラブ 大橋 史哲さん

作業ボランティア

- ◆さぎ草ボランティアの皆様
- ◆高野 純一さん ◆福島 玲子さん
- ◆中野 滋さん ◆義煎 敏子さん
- ◆山中 攸子さん

パン販売ボランティア

- ◆見目 勝義さん
- ◆羽生 恵二さん
- ◆河内地区民生委員児童委員の皆様

新しい仲間たち

1月に近江廣斗さんが農園芸班に仲間入りしました。

☆趣味：絵を描くこと

☆特技：料理 得意料理はハンバーグ

☆挑戦していること：ディアボロが上手くなりたいです！



よつば荘談話室

令和元年度振り返り

保護者会会長 郷間 ミツエ

日頃から理事長を始め事業所職員の皆様、保護者会の皆様にはご協力ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。本年度の主な活動は次の通りです。

- 4月、役員改選により5名の新役員を加え活動を開始しました。

- 6月、事業所との共催で、佐伯祐子司法書士を講師にお迎えし成年後見制度について学習会を開催しました。

- 7月、一路で送別会及び慰労会を開催。招待者、利用者、保護者総勢47名の参加で盛大に行われ楽しい時間を過ごしました。

- 8月、諸事情により3名の利用者が退所し会員数も減となりました。この経過をふまえ「福祉サービス向上のための委員会」が設置されました。支援等でお困りの事がありましたら気軽に相談下さるようお願いします。

- 9月、グーフォ祭に向け奉仕活動（一斉清掃）が事業所10名、保護者19名の参加で実施されました。

- 10月、第12回グーフォ祭が開催され保護者24名が模擬店に従事し全て完売しました。

- 11月、「かわちふるさとまつり」にバザーで参加。多くの寄贈品ありがとうございました。

- 1月、餅つき・新年会。ビンゴゲームで盛り上がりました。

- 2月、保護者と職員の懇話会

保護者会活動への参加者が固定化しつつあります。家庭の事情もあるかと思いますが多くの保護者の参加をお待ちしております。皆で保護者会活動を盛り上げていきましょう。

ここ数年、事業所職員の退職が続いている。利用者が不安を感じないようきめ細やかな支援と、毎日楽しく通所し仲間と一緒に仕事が出来るよう願っています。

給食業務が業者委託へ

設立以来13年間、グーフォの皆さんに給食を提供してきましたが、来年度より給食業務を「日本栄養給食協会」に委託することになりました。厨房職員からの一言です。

ありがとうございました！

「おいしかったあ～」「ごちそうさまでした」と元気な声。
「明日は何？」と聞いてくれる声が私にとって励みになりました。【赤羽】

おいしそうにご飯を食べているみんなが大好きでした。【川俣】

皆さんがあ屋を楽しんでくれた事、うれしい思います。これから皆のく思います。これから皆の顔が見れないと思う寂しいです。【鈴木尚】

開所当時から沢山の方々にご協力いただきありがとうございました。「おいしかったよー」の一言が何よりも褒美です。皆様、大変お世話になりました。【磯田和】

編
集
後
記



新型コロナウイルスの話題がニュースをにぎわしている昨今、見えないウイルスの脅威への対策が進められています。見えない敵との闘いの当初にあつた、ある眼科医の警鐘はかき消されました。誰しもが受け入れ難い現実に目を背けた結果なのかもしれません。普段との違い「異変」に気付く（心）の日が必要ですね。（あむ）